

市民アンケート調査について

新座市公共施設再配置計画の策定に当たり、市民の幅広い意見・意向を計画に反映させることが必要であることから、無作為抽出した18歳以上の市民3,000名を対象に、公共施設の利用状況及び今後のあり方に関するアンケート調査を実施します。

(1) 実施目的

公共施設の利用状況や満足度、今後の公共施設の維持管理の課題やあり方、公共施設のニーズ、再編や再配置計画の考え方などについて、広く市民の意向・意見を把握し、計画に反映させるため、アンケート調査を実施します。

(2) 実施概要

市民アンケート調査の実施概要については以下を想定しています。

実施対象：18歳以上の市民3,000名（無作為抽出）

実施時期：令和7年1月を予定（後日、詳細を調整）

実施方法：無記名回答方式

配布回収：郵送配布、郵送回収（二次元バーコードによるWeb回答も可能）

調査内容：

1. 回答者属性（年代、家族構成、居住地区、居住年数）
2. 公共施設（11類型※）の利用状況（利用頻度、利用しない理由）
3. 公共施設（11類型）の満足度（サービス面・建物や設備・立地状況）
4. 公共施設に対する考え方
 - 今後のあり方
 - 統合・削減を検討する施設
 - 優先的に維持・充実すべき施設
 - 市の公共施設に関する施策について（省エネ化やバリアフリー化など）
5. 自由意見

※本調査対象となる公共施設の11類型

- | | | |
|---------------------------|-----------|-------------------|
| 1. 学校（ただし学校開放を行っている施設に限定） | 3. ふれあいの家 | 4. 公民館・コミュニティセンター |
| 2. 集会所 | 6. スポーツ施設 | 7. 文化施設 |
| 5. 高齢福祉施設 | 9. 保健施設 | 10. 博物館等 |
| 8. 幼児・児童施設 | | |
| 11. その他施設 | | |

(3) 設問項目

項目	設問	設問意図
1. 回答者の属性と住まいについて	問 1、2、3、4、5	回答者の属性(年齢、家族構成、子どもの年齢、居住年数)について把握するとともに、以降の項目とのクロス集計の材料とします。
2. 公共施設の利用状況について	問 6、7	11 類型別の利用頻度と、利用していない施設類型については、利用しない理由を回答してもらい、年代や地区別でクロス集計し、傾向を分析します。 分析結果は施設評価などに利用します。
3. 公共施設の満足度について	問 8	11 類型別に、①提供しているサービスの満足度、②建物や設備についての満足度、③施設の配置状況についての満足度を尋ね、類型毎に分析を行います。 分析結果は施設評価などに利用します。
4. 公共施設に関する考え方 4-1. 今後のあり方	問 9	公共施設に関する課題を共有し、再配置に向けた方策について尋ね、年代や地区別でクロス集計し、傾向を分析します。 分析結果は、再配置計画の基本方針等の検討材料とします。
4-2. 統合・削減を検討する施設	問 10	再配置を進めるにあたり、統合・削減を検討していく施設について尋ね、年代や地区別でクロス集計し、傾向を分析します。 分析結果は、再配置計画の基本方針等の検討材料とします。
4-3. 優先的に維持・充実すべき施設	問 11	再配置を進めるにあたり、優先的に維持・充実していく施設類型について尋ね、年代や地区別でクロス集計し、傾向を分析します。 分析結果は、再配置計画の基本方針等の検討材料とします。
4-4. 市の公共施設に関する施策について	問 12	再配置を進めるにあたり、特に重視すべき公共施設に関する施策や事業について尋ね、年代や地区別でクロス集計し、傾向を分析します。 分析結果は、再配置計画のコンセプト等の検討材料とします。
5. 自由意見	-	公共施設全般に関しての意見を募る。

(4) 調査結果の分析・計画への反映方法

アンケート結果については、市民意向や利用者状況等の現況分析と課題抽出のための基礎資料として利用します。

また、再編・再配置の判定や計画のコンセプトづくり等に反映します。